



如意ヶ丘

第21号

《発行》平成27年12月24日



第21回万葉集全20巻朗唱の会 (H27.10)

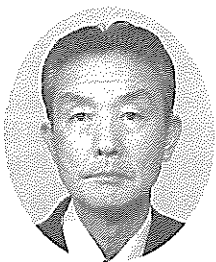


ダイヤモンドプリンセス号通訳ボランティア (H27.5)



ロシアダンススポーツ団来校 (H27.7)

ごあいさつ



会長
牧 亨

晩秋から初冬の候、立山連峰の冠雪と、ふもとの紅葉がすばらしいコントラストを醸し出す季節を迎えました。会員の皆様には益々ご健勝でお過ごしのことと拝察申し上げます。

今年は富山県にとって大きな出来事がいくつかありました。その1つは、3月14日に待望の北陸新幹線が開通し、観光客の増加による大きな経済効果を生み出しつつあること。2つ目には、10月24日に天皇・皇后両陛下をお迎えし、第35回全国豊かな海づくり大会が開催され美しい富山湾を全国にPRすることができたこと。3つ目には、11月1日に第1回富山マラソン大会が晴天のもと開催され、国内外をはじめ県民ランナーを含め12,000人を超える多くの選手が参加し、素晴らしい感動を与えてくれたこと。

また、来年5月には世界の環境サミット会議が富山市で開

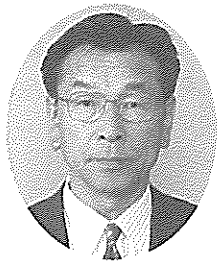
催が予定されるなど、富山県がこれから国内外に向け大きく飛躍するチャンスが与えられたものと確信します。

わが伏木高校も、国際交流科校として10年の節目を経過し、本年4月には、永年ご指導を頂きました宮崎豊校長が退任され、新たに富山商業高校より宮岸 毅校長が着任されました。今後次の10年を目指し更なる充実と発展を期待いたします。生徒諸君は、必須の英語をはじめ、選択科目である第二外国語の習得による語学力の向上に日々研鑽しています。これからの国際社会に臆することなく積極果敢に挑戦する人間力を身につけ、国際人として活躍してくれることを期待します。

本校は2017年(平成29年)に創立90周年を迎えることとなります。同窓会としても、県立高校の再編整備の問題を抱えているものの、式典・行事の開催に向けて準備を進めて参りたいと考えています。会員の皆様には今後とも格段のご協力をお願いする次第です。

向寒の砌、皆様にはご健勝にて新年をお迎えの程をご祈念申し上げます。

目指すは 国際人へのパスポート



校長

宮岸 毅

如意ヶ丘同窓会報第21号の発刊に心よりお喜び申し上げます。同窓会員の皆さまには、常日頃から、本校の教育活動に深いご理解と多大なご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

4月に、伏木高校正面入口で眼にしたのは、『目指すは 国際人へのパスポート』という学校スローガンでした。創立90周年を迎えようとしている歴史と伝統の中で、この10年、国際理解教育の実績を

着実に積み上げてきた本校への着任に、身が引き締まる思いと共に、多彩な交流活動に対する期待感も膨らみました。

7月には、中国の友好校である大連市第十二中学から、3名の教員と29名の生徒が、5泊6日の日程で本校を訪れ、交流会や授業に参加し、生徒宅でのホームステイを体験しました。恒例となっている支援推進委員会主催の歓迎パーティでは、地元保育園児による踊りや全員参加のゲームにより楽しい時間を過ごしてもらいました。

周艶（チョウ イエン）校長先生が、PTA主催の歓迎バーベキューも含め、高校の教育活動と地域との深い関わりに興味を示しておられたのが印象的です。

9月末には、韓国の友好校である水原市清明高校から、3名の教員と34名の生徒が訪れ、文化祭を共に楽しんでもらうことができました。帰国される際に、ホームステイを引き受けた家族の方々が生徒と一緒に涙を流して別れを惜しんでおられた姿にとっても感激しました。この他に

も、5月の台湾南投高級中学38名、7月のロシアダンススポーツ団18名、9月の中国訪日団の32名（2中学）、10月の国際青年育成交流事業の青年（パプアニューギニア、カンボジア）17名の来校があり、私は短い期間の中で、国際交流校に勤務していることを実感できました。

3月までには、本校生徒が中国、韓国、ロシアの各友好校を訪問・研修、サッカー部の韓国スポーツ交流、ロシアからの本校訪問などが計画されています。語学の学習だけではなく、全員が卒業までに一度は海外研修に参加するのは、全国的にもユニークな取り組みであり、国際感覚を養う上で教育効果の高い実践といえます。また、学校規模は1学年120名の小規模校でありながら、幅が広くて奥が深い国際交流活動は、学校の魅力と活力の源になっています。

これは、海外生徒受入時の歓迎会やホームステイ、万葉ゆかりの様々なイベントなどに対して、同窓会やPTA、地域の方々や関係各位の多大なお力添えがあればこそと思っています。今後も、国際人へのパスポートを目指して、本校ならではのレベルの高い教育活動が推進できますよう、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



【中国大連市第十二中学の生徒と地元園児たち】
支援推進委員会主催歓迎会（H27.7.21）

総会報告

伏木高校如意ヶ丘同窓会

平成27年度の如意ヶ丘同窓会定期総会は、7月4日(土)16:00より移転新築された「伏木コミュニティセンター」において約60人が出席して開催されました。総会では、戸澤副会長の進行のもと、同窓会物故者に対して黙とうを捧げたあと、牧同窓会長、宮岸校長の挨拶がありました。議事は議長に選出された牧会長により進められ、平成27年度の同窓会役員（案）や同事業計画（案）、同会計予算（案）等の議案が満場一致で採択されました。



続いて、生徒による中国、韓国、ロシアでの語学研修やホームステイを通じて体験した文化や生活習慣の違い、両校生徒による伝統芸能交流などが報告され、世界に向けて挑戦、チャレンジしたいという生徒の夢に、会場から温かい拍手が送られました。

その後、懇親会に移り、お互い和やかな雰囲気の中で盃を交わしながら昔話に花を咲かせました。アトラクションではOBの飯沢バンドが奏でる軽快なハワイアンメロディーに酔いしれ、中にはくちずさむ人もいたなど会場のムードは最高潮に盛り上がりました。

最後に、全員で声高らかに校歌を歌い、母校と同窓会の益々の発展とお互いの健康と再会を期し、成功裏のうちに閉会しました。

平成二十七年 如意ヶ丘同窓会顧問・役員

役職	卒業回数	氏名
顧問	商業 14回	山崎 孝之
〃	商業 16回	大黒 幸雄
〃	北高 3回	山下 和夫
〃	北高 3回	吉原 節夫
〃	北高 9回	濱谷 元一郎
〃	伏高 13回	横田 安弘
〃	伏高 20回	盤若 進二
〃	伏高 38回	石須 大雄
〃 (関東支部長)	北高 6回	酒井 敬司
〃 (関西支部長)	伏高 12回	杉林 清
〃 (学校長)		宮岸 毅
会長	伏高 16回	牧 亨
副会長	伏高 17回	中島 貞之
〃	伏高 18回	山口 正志
〃	伏高 22回	増井 修
〃	伏高 22回	向井 辰郎
〃	伏高 26回	小泉 哲二
〃	伏高 26回	澤武 博
〃	伏高 27回	向野 桂介
〃	伏高 30回	炭谷 強
〃	伏高 37回	条谷 正利
〃	伏高 39回	戸澤 秀行
〃	伏高 40回	宮越 一郎
〃	伏高 43回	山本 健一
監査	伏高 10回	牧野 貞夫
〃	伏高 16回	山 孝之

関西支部 便り

事務局長 山岡 巖 (伏高16回卒)

平成26年度総会を9月27日(日)11時より、大阪なんばの「道頓堀ホテル」に於いて、同窓会本部より増井副会長、小泉副会長、母校より宮岸学校長を来賓としてお迎えし、総勢33名の参加で第19回如意ヶ丘同窓会関西支部総会が開催された。

冒頭、全員起立し校友の物故者への黙祷が行われた。杉林支部長の開会の挨拶があり、続いて、増井副会長からは『雨晴海岸の有磯海の荒磯を象徴する女岩(めいわ)が、国の名勝に指定された。現在、周辺道路拡張整備中である事、この5月にオープンした伏木住民の思いがぎゅっと詰まった伏木コミュニティーセンターが開館した事、又、豪華外国客船が伏木港に寄港し、伏木の町が賑わった事』等々郷土のお話を頂き、宮岸学校長からは『国際交流科を設置して10周年になる。生徒全員が中国・韓国・ロシア等での海外語学研修に、スポーツや芸術文化を通して国際交流を行っている。語学力を武器に卒業後、国際社会人として活躍している。又、高岡万葉まつりのメイン行事「万葉集全20巻朗唱の会」に参加したりして、越中万葉学習にも取組んでいる事。最後に、再来年創立90周年を迎える。盛大な記念行事を企画している事』等々母校のお話を頂き議事に入った。

杉林支部長を議長に選出し、平成26年度の事業報告を山岡事務局長から、収支報告は奥会計から説明、川田副支部長(兼)会計監査から監査報告があり、続いて27年度の事業計画案・収支予算案、役員改選案が上程され、来年支部は創立20周年を迎えるに当たり、それにふさわしい記念行事を企画することを加え、それぞれ全会一致で可決承認され、平成27年度の如意ヶ丘同窓会関西支部の活動がスタートした。

増井副会長より、関西支部への活動助成金が杉林支部長に授与され、一同拍手で謝意を表した。記念撮影の後、母校への誇りを忘れず、会員の拡大・会の発展に尽くすべく決意を新たにし総会は終了した。

「計報」

長年にわたり、会の発展ご尽力された「本元憲明顧問(高1商・前支部長)」が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

懇親会は、小泉副会長による乾杯の発声で開宴となった。総会初参加者の紹介・挨拶、各自が昔話に花を咲かせ、両副会長・学校長は各テーブルをまわり支部会員と親しく語られ、和やかに懇談の輪が各所で広がり盛り上がった。

余興は、井川宗久会員(高16商)の力強い詩吟の朗唱があり、人気の「とやま産品争奪ジャンケン大会」に移り、各自がます寿司、いかの黒作りなど故郷の産品を手にした。自宅に戻り、家族と共に故郷の思いで話にふけり美味しく味わった事でしょう。やがて皆さんが待望の「越中おわら踊り」を『おわら風の盆俱樂部』の方と、全員で踊り楽しみ2時間半にも及んだ懇親会も余韻を残しつつ、やがて終幕を迎えた。

伏木商業高校・伏木高等学校の校歌を全員で声高らかに斉唱。秋元顧問の力強い恒例の「一本締め」、最後に川田副支部長の閉会の挨拶で、懇親会は盛会裏に終了した。母校の益々の発展を祈念しつつ、お互いの健康、変わる事のない友情に感謝し、閉幕した。各自「とやま産品」を手には帰路についた。



関東支部 便り

事務局長 山岸 清 (伏高17回卒)

第19回関東如意ヶ丘同窓会総会

平成27年6月18日、梅雨入りした都心市ヶ谷の「アルカディア市ヶ谷」で、第19回関東如意ヶ丘同窓会総会が総勢30名出席のもとで開催された。

母校より、4月新任の宮岸校長・同窓会本部より牧亨会長を迎え、総会は定刻、榎副会長の司会進行のもと行われた。冒頭、酒井会長の挨拶に先立ち、会員物故者への黙祷を捧げた。挨拶ではご多用の中、総会に出席戴いた来賓の方々を心込めての紹介があった。続いて20有余年の長期デフレ不況に対する安倍新政権への期待と、自身の新事業である「就労継続支援事業」推進の経過と将来に対する強い事業意欲の披露があった。

議事に入り、はじめに事務局長山岸より26年度事業報告及び27年度事業計画の説明、そして如意ヶ丘・地名の由来に関し、「思いのまま・自由自在」との如意に例えるべく、創立約90年、伏木高校先輩・先人達の思いを込めた如意ヶ丘ではとの言葉があった。北山会計長からの会計報告、岸監査からの監査報告があり、満場一致で承認され、議事は

全て無事終了した。

来賓挨拶では、稲場伸也東京富山県人会連合会副会長・同会の山田郁子婦人会会長の祝辞を戴く。

続いて牧会長の挨拶で同窓会の近況を兼ねての祝辞があり、締めの挨拶を4月に新しく着任の宮岸校長から頂戴した。スクラップ新聞切抜き記事等で母校の活動状況を詳細に説明され、母校の国際交流科10年、特色ある教育活動が文化活動・スポーツ活動の分野に礎を置き、精神的に専心努められている内容に共鳴を感じ、さらなる発展を期待した次第。少子化問題に鑑み富山県内に於ける高校統合協議も予想される今年度以降、他に類のない「国際交流科」10年のキャリアがある伏木高校の先行きに多少なりとも懸念有りとの言葉もあった。

二部懇親会は山岸事務局長の司会で進行され乾杯に先立ち、吉田常任幹事が「隅田川」を朗々と謳い上げ、参加者全員がほれほれと聴き入った後、今回東京初めてご出席頂いた富山県人会連合会婦人会事務局長石岡弘子氏の声高らかな発声で乾杯、歓談に入る。

歓談が進む中、恒例の余興になり、浜副会長「テイチク専属歌手」の郷土の歌謡で盛會に・山中節・帆柱起こし・越中おわら節等々輪踊りも広がり盛會裡を迎え、全員での校歌斉唱の後、母校の発展を祈念し林副会長のリードによる母校今後益々の発展と関係者全員のご健勝・ご多幸を祈念して全員での万歳三唱、返礼として宮岸校長より関東如意ヶ丘同窓会の発展と参列者各位の健勝を祈念し万歳三唱を頂いた。エール交換後、鶴谷副会長のユーモラスな大変に楽しい閉会挨拶で散会となった。



同窓会報告

第16回「伏高1、3会」同窓会

志村 俊夫 (伏高13回卒)

庭の柿が日増しに色濃くなってきた10月19日、高岡市内の雨晴温泉「磯はなび」において、昭和36年度商業課程卒業の「伏高1、3会」が、第16回目の同窓会を開催いたしました。

前回平成25年の「呉羽ハイツ」では、50名弱の出席でしたが、今回の返信は、本人や配偶者の体調が思わしくない方が多く、又親の看護で出席できないなど、高齢化したことが歴然と判る近況が数多くありました。

それでも関東・関西や県外からは6名の出席があり、総勢30名余りの宴となりました。

まず、亡くなられた高井、藤松、蟹谷3クラスの先生と、前回まで長期にわたり同会の開催継続に、尽力してくれた室崎さんをはじめ、26名の物故者全員のご冥福を祈り、黙祷しました。

そして、新しい能松会長からのあいさつ、乾杯の後、懇親の宴が始まり、舞台衣装に着替えてのど自慢や飛び入りのお上手なカラオケで、みんな思いきり若がり、そして大いに盛り上がりました。

既に、交わす呼び名は「あきー」「幸ちゃん」や旧姓など

で呼び合い、気持ちは瞬時に高校生そのままになっていました。

そして大声で円陣をつくり「高校三年生」「伏木高校校歌」を大合唱し、関東からの最遠来者の音頭によって万歳三唱し、宴会は終了しました。

その後、世話人部屋で更に談笑会が始まり、それぞれの人生劇場の失敗談、体調等の健康談、退職後の趣味や家庭菜園・スポーツ等、なかなか話は深夜になっても終わらず、最後に、世話人の締めによって就寝となりましたが、時すでに夜明け近くでした。

翌朝、「今回は、また2年後だよ」とお互いの健康での再会を誓い合い、別れを惜しみながら解散となりました。



昭和40年普通科卒業クラス会レポート

古希を記念「古都鎌倉」で!

誰が提案したでもなく2年おきにクラス会を開催、今年も如意ヶ丘同窓会関東支部が世話役となり11月11日古都鎌倉で開催いたしました。

卒業から50年、古希と云われる年齢になり、健康の秘訣・孫自慢・そして楽しかった高校生活を思い出し、語り合いたいとメンバー22名が古都鎌倉に参加しました。

高岡からは13名、北陸新幹線「かがやき」東海道本線で江ノ電藤沢駅到着、全員集合、極楽寺、長谷寺、鎌倉大仏を参拝、共に有名古刹であり外国人観光客と修学旅行でこた返しておりました。

いよいよクラス会の本番、大手企業OBである仲間が



紹介したゲストハウス(保養所)にチェックイン、夕食懇親会「家族の理解と自身の健康があったか

中島 貞之 (伏高17回卒)

ら遠路まで来られたことを感謝、そして、諸事情での参加できなかったクラスメイト、物故者のためにも実り多い楽しいクラス会にしましょう」と世話人が挨拶、鎌倉野菜と相模湾の新鮮な刺身、アルコールも入り3時間たっぷり昔話に華が咲きました。

2次会に入り、母校から取り寄せた「学校概要」「国際交流科10周年記念誌」を見ながら伏木高校を語り、高岡から持参した蒲鉾・日本酒で、まとまりのない思い出話が飛び交い寝る時間を忘れてしまいました。

2日目は、鶴岡八幡宮本殿神前で「伏木高校の益々の隆盛・昭和40年普通科卒業生の健勝を祈念」お祓いを受け、円覚寺、東慶寺へ、両日ともに約一万歩、古希人には、素晴らしい運動機会を与えて頂き修養するクラス会でした。

2年後は、地元富山県で、和田・田中・松井さんが世話役となり開催することを決め、別れを惜しまました。お世話頂きました山岸・岸・飯田・三浦さん有難うございました。

参加者名 飯田芳信・江守武治・岸晴夫・木村美智子・窪田次光・近藤智秀・佐伯純子・島田正人・橘和子・田中憲一・中島貞之・長沼由美子・新田みつ子・引網道義・藤田幸雄・細木稔明・松井政明・三浦倫子・森藤節子・山岸清・吉田健三・和田泰久

十伏
回卒
社会福祉法人
理事 長
牧野貞夫
伏木会

十伏
回卒
エムアルテクノサービス(株)
代表取締役
作道 和弘

十伏
回卒
株ウエノ
取締役会長
上野宏芳

十五伏
回卒
株フシキ住設
代表取締役会長
中山勝儀

十六伏
回卒
東光運輸(株)
代表取締役
牧 亨

十六伏
回卒
ヤマ自動車(株)
代表取締役
山 孝之

十七伏
回卒
協高岡市商店街連盟
事務局長
中島貞之

十八伏
回卒
東洋通信工業(株)
代表取締役
山口 正志

二十伏
回卒
有きたの
代表取締役
北野 健一

二十伏
回卒
株マスイ
代表取締役
増井 修

同窓生寄稿欄

「教育実習を終えて」西田 拳斗 (伏高64回卒)

私は6月1日から6月19日の3週間、母校である伏木高校で教育実習をさせていただきました。教育実習が始まる前、どんな生徒がいるのか楽しみであり、同時に生徒とうまくコミュニケーションがとれるのか不安でした。

私はこの教育実習で、教育において改めて2つのことが大切だと感じました。

1つ目は、生徒理解です。授業をするに当たっても、生徒に応じた授業をしなければ意味がありません。授業以外にも日頃の学校生活では、どういう生徒であるのかをしっかりと理解して接することが必要不可欠です。私は、生徒のことを理解するために、時間の許す限り、休み時間や放課後、部活動の時間など、生徒と積極的にコミュニケーションを図りました。多くの生徒と関わることでどの生徒も様々な個性をもっていることがわかりました。生徒の個性を理解したならば、今度はその個性をどのように指導して伸ばしていくかなど、生徒のためにどのように行動していくかを考え続けていくことが大切だと感じました。こういう生徒の成長・発達の過程を支援していけるのは教員の魅力だと思います。

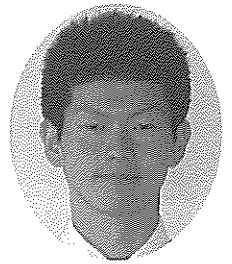
2つ目は教員同士の連携です。体育大会では、体育大会を円滑に運営するために、先生方自身も係りを決め、打ち合わせをしていました。体育大会運営をするに当たって、先

生方の中でリーダーを決め、指揮をとり、リーダーをはじめ円滑に運営するために連携していました。生徒のために、体育大会を円滑に運営し、成功させるために先生方が念入りに打ち合わせをして連携しているとは、伏木高校在学中には、知りませんでした。生徒が知らないところで先生方が生徒のために行動していたことは、教育実習でしか知ることができないものだと思います。何より、先生方は“生徒のために”という熱い気持ちが感じ取れました。

教育実習を通して、自分自身が生徒であった頃には知ることができなかった教師の姿を知ることができました。同時に、私が高校生時代に先生方に支えられて生活していたという実感が湧き、改めて教師の素晴らしさを感じました。

教育実習生として過ごした伏木高校での生活は私にとってとても充実していました。指導教官である中野静香先生はじめ、すべての教職員の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりましたが、伏木高校の更なるご発展を心よりお祈り申し上げます。



ゴルフ大会報告

第30回 如意ヶ丘グリーン会

開催日 平成27年4月11日(土) 参加者 68名
開催場所 氷見カントリークラブ

優勝	向 慶 莊 (伏高 23 回)
次勝	関 口 稔 宏 (伏高 25 回)
3 位	飯 沢 隆 夫 (北高 12 回)
4 位	増 井 修 修 (伏高 22 回)
5 位	田 中 清 清 (北高 9 回)
6 位	細 川 信 雄 (伏高 15 回)
7 位	柳 澤 昌 文 (伏高 25 回)
8 位	前 田 伊 和 雄 (伏高 39 回)
9 位	前 田 明 儀 (北高 8 回)
10 位	中 山 勝 儀 (伏高 15 回)
11 位	辰 野 猛 猛 (伏高 19 回)
12 位	海 老 邦 明 (伏高 23 回)
13 位	米 島 義 雄 (伏高 25 回)
14 位	館 良 成 (伏高 32 回)
15 位	松 長 一 雄 (北高 8 回)
B G	田 中 清 (北高 9 回)

第27回 富山県高校 OB 対抗ゴルフ大会

期 日 平成27年6月7日(日) 場 所 高岡カントリー倶楽部

母校の名誉をか (出場者)

け、熱戦が繰り広 増 井 修 (伏高22回) 澤 武 博 (伏高26回)
げられ、我々は参 廣 野 辰 之 (伏高23回) 戸 澤 秀 行 (伏高39回)
加28校中、16位 桶 谷 実 行 (伏高20回) 柳 澤 昌 文 (伏高25回)
となりました。 館 良 成 (伏高32回)



三北 回 卒 山 下 和 夫 山産商会 代表取締役	三北 回 卒 吉 原 節 夫 高岡法科大学名誉教授 富山大学名誉教授	八北 回 卒 松 長 一 雄 松長社会保険労務士事務所 所 長	九北 回 卒 布 野 彰 一 東光産業(株) 代表取締役	十伏 回 卒 戸 澤 克 行 日光商事 代表取締役
---------------------------------------	--	---	--	---------------------------------------

二伏 六回 卒 小 泉 哲 二 (有)昭和運輸 代表取締役	二伏 六回 卒 澤 武 博 氷見伏木信用金庫 執行役員	二伏 七回 卒 井 上 人 士 也 井上動物病院 院 長	二伏 七回 卒 松 長 聡 新湊きつとぎと市場 浜焼き浜風	二伏 七回 卒 鳥 田 博 司 鳥田工業(株) 代表取締役	三伏 一四回 卒 松 嶋 浩 二 松島工業(株) 代表取締役専務	三伏 四回 卒 数 田 昭 久 (株)ローリング 代表取締役	三伏 七回 卒 条 谷 正 利 スミエ芸企画 表	三伏 九回 卒 前 田 伊 和 男 ティエムシーエムアール(株) 代表取締役	四伏 十回 卒 宮 越 一 郎 宮越工業(株) 代表取締役社長
---	---	--	---	---	--	--	--------------------------------------	--	---

～平成 26 年度 進路状況～

進路指導部長 浜木 健繁

国際交流科の第8期生の進路状況は右記のようになりました。国立大学合格者は、1期生9名、2期生4名、3期生4名、4期生11名、5期生5名、6期生4名、7期生4名です。進学に関しては、推薦入試、AO入試、センター試験利用入試等様々な形があります。それぞれに対応したきめ細かい指導の結果、各自の希望をかなえられるようにしています。

進路先については、大学短大進学者57名のうち県内進学者が17名(30%)、石川県16名(28%)、関東方面7名、中部方面8名、近畿方面6名となっています。また、専門学校進学者40名のうち29名が県内(73%)となっています。

就職は、求人数が大変多いです。特に製造業、建設業、販売の求人が多くなっています。

生徒の個々の能力に合わせ、最善の進路を選択できるよう教職員一丸となって努力しています。

同窓会の皆様には、本校生徒の進路実現のため一層のお力添えをよろしくお祈りします。

平成 26 年度 大学等進路状況 (延べ数)

進路先	合格者数	学校名・企業名等
国公立大学	6	金沢、富山、富山県立、新潟県立
私立大学	57	帝京平成、駒沢、大東文化、二松学舎、山梨学院、愛知学院、名古屋学院、名古屋外国語、中京、名城、中部、富山国際、金城、金沢学院、金沢星稜、金沢工業、北陸、福井工業、京都産業、立命館、京都外国語、関西外国語 など
短期大学	25	岐阜市立女子、富山、富山福祉、金城、上智、金沢学院、高山自動車、北陸学院、平成医療 など
専門学校	46	富山外国語、厚生連高岡看護、高岡市立看護、高岡市医師会看護、富山赤十字看護、高岡第一学園幼稚園教諭保育士養成所、富山病院付属看護、富山歯科総合学院、富山県理容美容、富山県技術専門学校、富山製菓、富山情報ビジネス、富山クリエイティブ、金沢文化服装、金沢リハビリ、金沢製菓調理師、金沢調理師、関西総合リハビリ、東放学園音響、日本工学院 など
文部科学省管轄外	2	北陸職業能力開発大学校
その他	1	雄峰高校専攻科
就職	13	高岡市消防、柿里、ビルト・ブレイズ、三協立山、ハル合名、ヤマト運輸、アイシン軽金属、中興建設、磯はなび、STメタルズ、ピューマ など

部活動報告

Fushiki High School

◆◆◆平成27年度部活動の記録◆◆◆ (平成27年3月～11月)

〈体操部〉

富山県高等学校春季大会体操競技		
女子個人総合	第2位	喜 香恋 (1年)
富山県高等学校総合体育大会体操競技選手権大会		
男子個人総合	第2位	池田 珠路 (1年)
女子団体	第1位	
女子個人総合	第2位	尾山 実優 (1年)
	第3位	喜 香恋 (1年)
富山県スポーツフェスタ第68回富山県民体育大会体操競技		
男子個人総合	第2位	池田 珠路 (1年)
男子種目別鉄棒	第2位	池田 珠路 (1年)
男子種目別平行棒	第2位	池田 珠路 (1年)
男子種目別跳馬	第2位	池田 珠路 (1年)
男子種目別つり輪	第2位	池田 珠路 (1年)
男子種目別あん馬	第2位	池田 珠路 (1年)
男子種目別ゆか	第2位	池田 珠路 (1年)
女子団体総合	第1位	
女子個人総合	第2位	尾山 実優 (1年)
女子種目別平均台	第2位	尾山 実優 (1年)
女子種目別段違い平行棒	第2位	尾山 実優 (1年)
女子種目別跳馬	第2位	吉田 優芽 (1年)
平成27年度富山県ジュニア体操選手権大会		
女子Aクラス個人総合	第2位	尾山 実優 (1年)
女子Aクラス段違い平行棒	第2位	尾山 実優 (1年)
女子Aクラスゆか	第3位	尾山 実優 (1年)
女子Aクラス個人総合	第2位	吉田 優芽 (1年)

女子Aクラス跳馬	第2位	吉田 優芽 (1年)
女子Aクラス平均台	第3位	吉田 優芽 (1年)
女子Aクラス跳馬	第3位	喜 香恋 (1年)
女子Aクラス段違い平行棒	第3位	喜 香恋 (1年)
女子Aクラス平均台	第2位	喜 香恋 (1年)
女子Aクラスゆか	第2位	喜 香恋 (1年)
富山県高等学校新人大会体操競技		
女子団体	優勝	
男子個人総合	第2位	池田 珠路 (1年)
女子個人総合	第2位	尾山 実優 (1年)
女子個人総合	第3位	吉田 優芽 (1年)
〈書道部〉		
第40回富山県青少年美術展	入選	土肥 咲菜 (2年)
	入選	西尾 美咲 (2年)
第14回岐阜女子大学全国書道展	奨励賞	河野 はな (1年)
	奨励賞	東 彩佳 (1年)
	特別賞	土肥 咲菜 (2年)
	特別賞	西尾 美咲 (2年)
	特別賞	喜 香恋 (1年)
	特別賞	浦田 賢人 (1年)
〈第33回全日本中国語スピーチコンテスト富山県大会朗読の部・高校生部門〉	第2位	高浪菜津希 (2年)
〈第17回富山県高校生英語プレゼンテーションコンテストレシテーション部門〉	奨励賞	田原 唯 (1年)
〈第35回全国豊かな海づくり大会作文コンクール〉	入選	前野 朱音 (2年)

INFORMATION

①平成28年版名簿発行のお知らせ

平成28年版如意ヶ丘同窓会名簿を発行します。希望される方は以下の要領でお申し込みください。

名簿発行日：平成28年10月下旬
 体裁：A4版(約350頁)
 価格：4,350円(送料、税込み)
 申し込み方法：株式会社サラトより送付される振込用紙にて振込

②会報購読、会報広告の件

会報の購読を希望される方、および会報への広告掲載にご協力いただける方

は、事務局までご一報ください。

③寄稿の件

本会報に掲載する原稿を募集致します。(学生時代の記憶に残る体験、経歴談、思い出話等)皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと思っております。なお、原稿は1,000字以内でお願いします。下記のメールアドレス、または学校事務局まで送付ください。

④如意ヶ丘グリーン会参加者募集

毎年4月第2土曜日

富山県立伏木高等学校 事務局
 〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮2丁目11番1号
 TEL0766-44-1514 FAX0766-44-1707
 ホームページ <http://www.tym.ed.jp/sc354/> メールアドレス dousoukai@fushiki-h.tym.ed.jp

編集後記

・会報は、同窓会員の近情や本部、支部の活動、在校生の日常の活躍ぶり等を出来るだけ詳しく知らせよう編集に努めておりますので、会員の皆様の積極的な寄稿を募集しています。

・母校は、2年後の平成29年度「創立90周年」を迎えます。年明けには記念事業実行委員会を組織して具体的な事業計画等を策定することとしています。会員の皆様からのご意見ご提案のほか、記念事業へのご理解ご協力を賜りますよう、今後ともよろしくお祈り申し上げます。

向井 辰郎